

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)

- 言葉の特徴やきまりに関する理解と使い分け
 - ・言葉の働き、役割
 - ・書き言葉(文字)、話し言葉、言葉の位相
 - ・語、語句、語彙
 - ・文の成分と構成
 - ・文と文の関係、段落と文章の関係
 - ・文章全体の構造
 - ・表現の工夫(修辞など)
- など
- 書写に関する知識・技能
 - 伝統的な言語文化に関する知識・技能
 - 話し合いや話し方・発表に関する知識・技能
 - 情報活用に関する知識・技能

思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)

- テキスト・情報を理解する力、文章や発話により表現する力
【創造的思考(とそれを支える論理的思考)の側面】
 - 情報を多角的に吟味し、構造化する力
 - ・論理の吟味・構築(根拠、論拠、定義、前提等)
 - ・信頼性、妥当性の吟味
 - ・既有知識(他教科に関する知識、一般常識、社会的規範や文化等)に基づく吟味、補足、精緻化
 - 構成・表現形式を評価する力
- 【感性・情緒の側面】
 - 言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力
 - 構成・表現形式を評価する力
- 【他者とのコミュニケーションの側面】
 - 相手の心を想像する力
 - ・相手との関係や状況の理解
 - ・相手の意図や感情の読み取り
 - ・自分の立場や目的の明確化
 - 構成・表現形式を評価する力
- 考えを形成する力(個人または集団として)
 - 情報を編集・操作する力
 - 新しい情報を、既に持っている知識や経験・感情に統合し構造化する力
 - 新しい問いを立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力

学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)

- ・国語を通じて、自分のものの見方、考え方を深めようとするとともに、考えを伝え合うことで、集団の考えを発展させようとする態度
- ・様々な事象に触れたり体験したりして感じたことを言葉にするとともに、それらの言葉を互いに交流させることを通じて、心を豊かにしようとする態度(自分の感情をコントロールしようとする態度)
- ・言葉には、自分の伝えたいことが正しく伝わらなかったり、相手を傷つけたりする場合があることを認識した上で、言葉が持つ力を信頼し、国語を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者の心と共感するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度
- ・我が国の言語文化に対する関心、及び、言語文化を享受し、生活や社会の中で活用し、継承・発展させようとする態度
- ・自ら進んで読書をし、読書を通して、知らないことを知ったり、経験のないことを体験したり、新しい考えに触れたりするなどして人生を豊かにしようとする態度